

三戸高校「クリエイティ部」 1年生のカリキュラムに



日下さん(手前右から2人目)のアドバイスを
受け、自分のキャッチコピーを考える生徒たち

ポスター作り挑戦
県外から生徒を受け入れ
る「全国募集」導入校とな

っている三戸高校(直町年
行校長)の「クリエイティ
部」の取り組みが、本年度
から1年生のカリキュラム

に組み込まれ30日、初回の
授業が行われた。1年生25
人がクリエイターの指導を
受けながら、三戸町の魅力
を発信するポスター作りに
挑戦する。

2023年度に新設した
クリエイティ部は、コピー
ライティングやイラスト、
デザインなど社会人になっ
てからも役立つ情報発信の
基礎を学ぶ。本年度からは
カリキュラム化に伴い、部
活動とは別に総合的な探求
の時間の授業を活用し、学
校全体で地域の活性化を図
っていく。

この日の授業は、コピー
ライター・写真家の日下慶
太さん(47)「大阪市」が指
導。広告の基本について説
明した日下さんは、「キャ
ッチコピーは20文字まで」
「誰でもすぐに意味が分か
るように」などとアドバイ

ス。生徒たちは自己紹介す
る時の自分のキャッチコピ
ーを考え、1人ずつ発表し
合った。

次回以降は、生徒たちが
町の魅力について考え、6
月下旬には実際にポスター
の写真撮影やレイアウト
作業に取り組み、7月の学
校祭までに完成させる予
定。

千葉県から今春入学した
後藤瑠菜さん(15)は「町の
人が親しくあいさつしてく
れ、町の雰囲気はとてもし
い。この町の魅力をポスタ
ーで伝えたい」。日下さん
は「三戸には魅力がたくさん
あるがそれを伝え切れて
いないので、高校生にいい
感じて伝えてもらいたい」
と話した。

一方、1、2年生12人が
入部している部活動の方は
本年度、町をPRするCM
作成に取り組むという。